

埼玉労働局発表
令和5年12月1日(金)

報道関係者 各位

【照会先】

埼玉労働局労働基準部健康安全課
課長 繁野 北斗
地方産業安全専門官 堀川 道歳
(電話番号)048-600-6206(内線 234)

**職場の安全と健康に関する出前講座（SAFE出前講座）等を実施
～安全衛生活動に取り組む意欲のある事業場を支援します～**

埼玉労働局（局長 久知良 俊二）は、社会全体で、安全で健康に働ける職場づくりを目指す「SAFEコンソーシアム」（※1）及び「埼玉県SAFE協議会」（※2）の取組の活性化を目的として、安全衛生活動に取り組む意欲のある事業場の代表者、安全衛生担当者や高校・大学等の学生を対象に、次のとおり、職場の安全と健康に関する出前講座（以下「SAFE出前講座」という。）を実施します。

また、安全衛生活動を進めるにあたり、悩みを抱える事業者、安全衛生担当者等を支援するため、個別相談（以下「SAFE個別相談」という。）を実施します。

※1 厚生労働省が令和4年6月に設置したコンソーシアム。同コンソーシアムでは、加盟した企業・団体等が連携し、安全衛生活動の好事例の顕彰（SAFEアワード）、交流を図るシンポジウム、現場視察等を実施している。

※2 埼玉労働局が令和4年9月に設置した協議会。同協議会では、構成員が、安全衛生活動を支援する事業者と連携を図り、働きやすい職場づくりに関する情報共有、発信等を行っている。

これらの取組により、県内事業場の安全衛生活動を支援することで、誰もが安全で健康に働ける職場づくりを推進してまいります。

1 SAFE出前講座

(1) 概要

- 労働局の担当者、安全衛生活動支援協力事業者（※）等が、安全衛生活動の進め方等について説明するとともに、各種支援サービスを紹介します。
- 会場開催、オンライン開催のいずれも可能です。
- 総会や安全衛生大会、幹事会等の機会を活用し行うことも可能です。
- 講義内容への質問に担当者が応答します。

※ 安全衛生活動支援協力事業者とは、埼玉県SAFE協議会の活性化を図り、県内の事業場における安全衛生水準の向上を図ることを目的として、県内事業場の安全衛生活動を支援する事業者のこと。

(2) 申込要件

- 次のいずれかに該当する事業者等
 - ① 安全衛生活動は事業場において自発的に取り組むことが重要であることから、安全衛生活動に取り組む意欲のある事業場関係者が参加すること
 - ② 学生に対し安全衛生の知識を研修したい高校、大学、専門学校等の教育機関であること
- 受講者について、10名以上の事業者、安全衛生担当者、学生等が集まること
- 受講者を収容できる会場、機材の準備、資料の配布が可能であること(配布資料は労働局担当者からPDF形式で送付します。)
- 営利目的での開催としないこと

(3) 申込方法

- 開催希望日の1か月前までに下記URLよりお申込みください。
<https://forms.gle/73zf3yt4k7seSzP27>

2 SAFE個別相談

(1) 概要

- 安全衛生活動を進めるにあたり、悩みを抱える事業者、安全衛生担当者等に対し、労働局の担当者が、労働局健康安全課の窓口又はオンラインで相談に応じます。
- 相談内容に応じて、安全衛生活動の進め方等について説明するとともに、各種支援サービスを紹介します。
- 相談の結果、相談者の悩みに応じ、相談者の事業場にマッチする支援サービスの利用をしていただくことを想定しています(別途、各種支援サービスの利用申込が必要です。)

(2) 対象

- 安全衛生活動は事業場において自発的に取り組むことが重要であることから、安全衛生活動に取り組む意欲のある事業者又は安全衛生担当者が対象です。

(3) 申込方法

- 下記URLよりお申込みください。
<https://forms.gle/LAfcVunN5YWeLgbi7>

別添 SAFE出前講座・個別相談の概要リーフレット

参考 SAFEコンソーシアム・協議会・出前講座・個別相談の概要

職場の安全と健康に関する

S A F E 出前講座

派遣料金
無料



- 事前申込制
- 様々なコースを用意
- オンライン対応可



こんなお悩みはありませんか

- | | |
|---|---|
| <input checked="" type="checkbox"/> 安全衛生活動の進め方がわからない | <input checked="" type="checkbox"/> 労働者の心と体の健康状態が悪化している |
| <input checked="" type="checkbox"/> 転倒による労働災害が増えている | <input checked="" type="checkbox"/> 病気を抱える労働者も働きやすい職場にしたい |
| <input checked="" type="checkbox"/> ヒューマンエラーの事故が増えている | <input checked="" type="checkbox"/> アルバイトなどで働くときに必要な安全衛生の知識を研修したい |

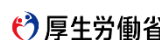
労働局の職員等が、安全で快適な職場づくりに役立つ情報や、安全で健康に働くために気を付けるべきポイントなどをお話しします。

申込要件

- 次のいずれかに該当する事業者等
 - 1.安全衛生活動に取り組む意欲がある事業場
 - 2.学生に対し、安全衛生の知識を研修したい高校、大学、専門学校などの教育機関
- 10名以上の事業者、安全衛生担当者、学生等が集まること
- 受講者を収容できる会場、機材の準備、資料の配布が可能であること（配布資料は労働局担当者から事前送付）
- 営利目的での開催としないこと

コース例

- 労働災害事例と再発防止対策
- 安全衛生計画策定の方法
- 安全衛生教育の実施方法
- リスクアセスメントの実施方法
- 健康診断結果等を活用した健康保持増進対策の実施方法
- アルバイトで労働災害に遭わないために気を付けるべきポイント など



埼玉労働局

お申込み
お問合せ

お申込みは右記二次元コードよりお申込みください▶

☎ 048-600-6206 -3-

担当：埼玉労働局労働基準部健康安全課



SAFE 出前講座



<https://forms.gle/73zf3yt4k7seSzP27>

職場の安全と健康に関する

S A F E

相談
無料

個別相談



- 事前申込制
- オンライン対応可



こんなお悩みはありませんか

- 安全衛生活動の進め方がわからない
- 転倒による労働災害が増えている
- ヒューマンエラーの事故が増えている
- 労働者の心と体の健康状態が悪化している
- 病気を抱える労働者も働きやすい職場にしたい
- 化学物質の適切な管理方法がわからない

労働局の職員が、安全衛生活動を進めるにあたり、悩みを抱える事業者、安全衛生担当者等に対し、労働局の窓口又はオンラインで相談に応じます。

相談内容に応じ、相談者にマッチする以下の支援サービス等を紹介します

※各種支援サービスの利用には別途申込みが必要なものがあります。

JISHA 中央労働災害防止協会
中災防 Japan Industrial Safety & Health Association

訪問支援 相談会 研修会

独立行政法人労働者健康安全機構
埼玉産業保健総合支援センター

訪問支援 相談窓口 セミナー

厚生労働省 **埼玉労働局**

補助金 各種教材 支援ツール

お申込み
お問合せ

お申込みは右記二次元コードよりお申込みください
048-600-6206 -4-



SAFE 個別相談

<https://forms.gle/LAfcVunN5YWeLgbi7>

担当：埼玉労働局労働基準部健康安全課

S A F Eコンソーシアム・協議会・出前講座・個別相談の概要



S A F Eコンソーシアム

- 国民の安全衛生意識を向上させ、「従業員を幸せにするための安全アクション」(SAFEアクション)により、安全で健康に働くことのできる職場環境を構築することを目的に関係者が集うコンソーシアム
- 本コンソーシアムでは、安全衛生活動の好事例の顕彰、加盟者の交流を図るシンポジウムの開催、現場視察会等を実施



S A F Eアワードの受賞式の様子

S A F E協議会

- 安全衛生活動に積極的に取り組む県内の小売業・介護施設の事業者を構成員として、自主的な安全衛生活動の定着等を図るための取組を行い、同業種の安全衛生水準の向上を推進(今年度は啓発動画の作成、好事例の展開を実施)
- 協議会構成員はS A F Eコンソーシアムに加盟



埼玉産業安全衛生大会の様子



協議会構成員協力の啓発動画

S A F E出前講座・個別相談

- 安全衛生活動に取り組む意欲のある事業者等を支援するため、企業・団体からの申込みに応じて出前講座を実施(併せてコンソーシアム・協議会への加盟を勧奨)
- 安全衛生活動に悩みを抱える事業者等に対し、労働局の職員が相談に応じ、解決を支援(国や関係機関の支援制度とのマッチングを実施)

